



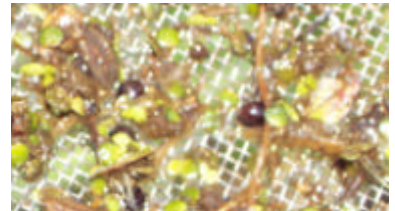
この会報の発行費用の一部は、(財)イオン環境財団の助成によるものです。連絡先:〒243-0303 神奈川県愛甲郡愛川町中津6205 TEL 046-284-2121

## 第3回総会 議案1. '02年度・活動のまとめ(案)



5/26 コオイムシ・タマガムシ調査

愛川の宝もの、八菅山・中津川周辺：里地里山環境の保全をねがい、尾山耕地に生息する貴重種のうち昆虫6種について調査を行い、報告書にまとめました。<(財)イオン環境財団より30万円の助成を受けました。>



5/26 タマガムシ：体長2～3mm濃茶色



6/15 モートンイトトンボのオス：約3cm



6/24 120個の卵を背負うコオイムシのオス



6/24 調査途中、自然観察にきた中津小3年生とオオミズアオを持った先生に出会いました。



6/30 モートンイトトンボ生息環境調査



7/14 生息環境の植物：同定作業



7/11 ゴミムシのベイトトラップ設置



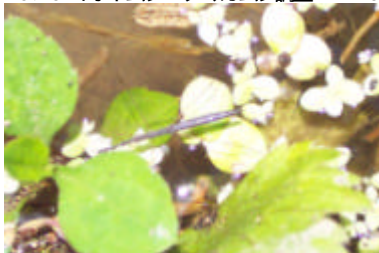
8/28 コオイムシ・タマガムシ調査



8/9 土手道：左に中津川、右に尾山耕地と八菅山



12/2 雪の翌日、イトアメンボ調査補助活動



6/10 イトアメンボ：体長約15mm

尾山耕地に生息する県の絶滅種：国の絶滅危惧種イトアメンボの調査補助活動や、半原地域の山でのテンの調査に協力、公民館他での展示、愛川中学の総合学習でお話するなどの活動を行いました。

農業者、専門研究者、地元の小中学生、周辺地域市民活動の方々、尾山の自然を愛して訪れるの方々などとの様々な出会いがありました。2年目の尾山調査も(財)イオン環境財団の助成を受けて行います。

## 今年度のまとめ案 続き 11・12月 愛川の山での「テンの調査」に参加



歩きやすい道に沿って、テンの糞を見つける調査。12月は雪が残り、雪の上にたくさんのウサギやシカの足跡も見つけました。思いがけない発見ができて、寒いながらも楽しいテンの調査でした。

11/9 仏果山方面の稜線を遠望。 12/14 眼下に中津川周辺の集落、津久井方面を望む。雪の上にはウサギの足跡。



4月文化会館での展示  
飼育の学習会  
03年2月中津公民館  
公民館まつり  
2/22~3/2 展示(左写真)  
体験教室:草木あそび  
~お手玉作り~

ホームページができました。

掲示板に気軽に書き込んで下さい。管理を会員の手で行うのが課題。アドレス [www.aikawasizen.net](http://www.aikawasizen.net)

事務局のメールアドレスは  
e-mail [npo@aikawasizen.net](mailto:npo@aikawasizen.net)

## 来年度議案について

年間活動計画については、アンケートを行いますので、よろしくお願いいたします。

### 会報「あめんぼ通信」編集方針案

・ みんなで作る会報 ・ 地域の取材 ・ 次号内容: 情報 ・ 発行日の定期化

会計の約束の検討 ・ 会費納入日 ・ 会計処理 ・ 助成金と会の会計

会員募集と役割分担について ・ ・ ・ いよいよ5年目に入ります。運営方法の再考を。 他

尾山調査報告書作成 進行中。3月9日は感想文、種別解説文の締め切りです。感想文は全員の方(飼育含め一度以上参加の)にお願いしています。また、参加できなかった方も会報をお読みになって、調査や尾山の環境保全等の感想などがありましたらお寄せ下さい。

## 尾山農道(山側水路際)着工

12月議会の町の説明では、生態系に配慮した農道とのこと。

今、その姿を見かけないキイトンボが、数年前にはこの辺にもたくさん飛んでいたとききます。

新・生物多様性国家戦略や自然再生法が出来ましたが、日本中に生き物たちが戻り、生態系豊かな環境はよみがえるのでしょうか。

それにしても、農業者の努力で耕作地の生物多様性が増すごとに、経済的にも報われる制度はあるのかしら？  
(大木悦子)



2/9



2/23



山際水路に沿ってできる農道の工事区間は上流部より100m余り。一部改修の水路の底面は砂利敷き。

## 花ごよみの講演を聴いて・・・ 川嶋朋美

2003年1月25日 テーマ: 花ごよみの作り方と大山の花ごよみ

講師 平塚市博物館 浜口哲一先生 主催: 厚木植物会

厚木市郷土資料館(特別展「あつぎ地域の草木・花めぐり」1月30日まで開催)

どの時期にこういった花(あるいは実)を見ることが出来るか手がかりとなる花暦をつくらうといった内容。

- ・コース(1kmぐらいが手頃)は山に限らずいつもの散歩道などでもいい
- ・毎月見ることの出来た植物について記録をとる

普段何気なく通っているところでも花暦をつくることで新たな発見を見つけることが出来そうです。また数年間通じてみると大きな変化が得られそうな気がしました。その点に関して尾山の調査にも通じるところがありそうです。

大和市から尾山に通ってみえる岩崎さんに、思いをつづって頂きました。

### 八菅：かわら山付近

岩崎正幸

私が、ここに、心をひかれたのは15年前ハンティングをやめて、暇をもてあまして、子犬(黒トラ毛、飼犬)3ヶ月をつれて、この近所をうろろして、タバコを、と腰をおろした所が今の家の道の前に有る田の神の石の前でした。六月頃で田の稲が風にさわさわとなびいて、そこを、麦ワラトンボ 塩カラトンボが多数、飛んでいました。

山ぞいの田んぼ道を歩いてみると、田と山の境には、側溝のような40cmぐらいの水路が有り、水は流れてはいませんが、全体的にしめって所々10m - 6m - 3m - 50cmと水たまりが有って、その中は木の葉がたまり、草が、スースーと真すぐに立ち、水たまりの中には小さな虫達がいたり、沢ガニが見つかって心が躍ったものでした。遠い昔の子供のころの風景を、思い出して、その後もチョイチョイ行きました。

有る時、その近くで道の草にとまった糸トンボのシッポが黄色いのがいておどろきました。私が初めて見た色でした。湿地では、水面から出た草の幹に、2-3cmの泡の様な白いカタマリが、そこかしこに、ついているのを見ました。

いま家の有る場所に上って見ると、日だまりに、今まで見た事もない様な大きなヤンマが、たくさん、グライダーの様に、滑空していました。

虫もたくさんいて、かみきり虫の大きいもの、中くらいの、又小さくて赤い色をしたもの、緑と黒がまじったもの、そのきれいな色のたくさんの虫、緑に光った毛虫も見かけました。

小さいホタルもふわふわと飛んで良い風情でしたが、今は見かけません。

又、土手の道を車で行くとヘビにいつも会いました。シマヘビ、青大将、シロマムシ、ヤマカガシ、鳥はキジ、山ドリ、ウズラ、コジュケイ、タカ、トンビ、タヌキも夜に行くと、車のライトに、道の中を、モコモコと逃げるのを良く見ました。

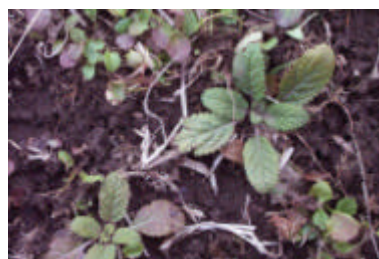
秋には赤トンボの大群、色々な虫、鳥、ヘビ、動物の宝庫でした。2mの青大将を見た時はアセリました。犬もタジタジでした。草花も、野草の本に有る花をたくさん見かけ、野草の宝庫って感じでした。そこで、あの場所(尾山の西端:山すそ)を、借りて、家を立て、通う様になったのですが長い間に、様々と環境が変り、人も多く車も来るようになり 虫も動物も草も、姿を消しはじめましたのが7年ぐらい前です。

その間に田と山境の側溝がコンクリートになったと思われます。虫達はコンクリートの高いかべにはばまれて、山から田んぼへの道がたたれたのか?又新しい側溝で水が全部下に流れ、たまらなくなったので地面の湿り気もなくなってしまったのか?水分は以前とはくらべものになりません。自然の状態は、以前の4分の1程度を保つぐらいです。新しい道(町道:幣山下平線)が出来れば、もっと(自然の後退が)進むのではないかと心配です。

\* ( ) 補足: 大木

3月22日(土)

「博物館から里山を考える集い」



情報掲示板

尾山 '03 - 2 - 3

## 里山の未来を語る集い

日時 3月15日(土) 9:30~16:00 参加費無料

場所 かながわ県民センター 301 会議室(市民活動フェア 2003 会場内)

横浜市神奈川区鶴屋町2-24-2(横浜駅西口三越裏)

共催 NPO法人よこはま里山研究所NORA (財)かながわトラストみどり財団

神奈川自然保護協会 神奈川県立生命の星・地球博物館友の会 神奈川県緑政課

9:30~11:40 協同事業報告会 14年度のかながわボランティア活動推進基金21協働事業「市民による里山の保全とシステムづくり」について報告と意見交換を行います。

12:00~12:50 映画上映会「今森光彦の里山物語」

人と自然、生きものたちがせめぎあいながらも一緒に住める空間「里山」。懐かしい風景の中で息づく生きものたちの暮らしぶりを、見事にとらえた映像作品です。

13:10~16:00 里山活動発表交流会

里山にかかわる活動は多種多様、いろんな人たちがいて、たくさんの思いがあります。そのひとつひとつにスポットをあて、これからの「里山」について考えてみませんか？

### ・こんなこと伝えたい・知りたい: 次のようなテーマで発表する団体募集中!

生物多様性保全の試み(雑木林管理 水田復元など) 農林業家とのパートナーシップ(援農 契約栽培など) 福祉団体とのかわり(作業・園芸療法、直売など) 学校との取り組み(学校給食 総合的学習など) 地域ぐるみでの取り組み・・・他

・ 基調講話 「都市近郊の里山今昔と未来」 神奈川県自然保護協会会長 新堀豊彦氏

テンの調査 3月8日・21日 集合 午前10時 愛川町繊維会館駐車場 お弁当持参

定例会・打ち合わせ・調査 3月9日(日) 午前10:00~1200 コオイムシ越冬調査:尾山

午後1:30~5:00 定例会・調査打ち合わせ 中津公民館

会員・調査ボランティア募集中! \* 会費納入は、下記振込先までよろしくお願いたします。

#### <編集後記>

ひと雨ごとに春の気配  
しかし、コオイムシの姿は12月に確認できた場所にも見えず、すっかり土に潜ってしまったようです。  
いつごろ顔をのぞかせてくれるのでしょうか。  
季節を知らせる生き物の営みを追って、会報もそろそろ定期発行できるようにしたいと思います。(え)

#### <あいかわ自然ネットワーク会報>

あめんぼ通信 9 発行日 2003年2月24日

#### 会費

- ・振替口座名 : 名称 あいかわ自然ネットワーク
- ・口座番号 : 00210-1-69500
- ・会費 : 賛助会員(会報・案内送付) 1,500円  
会員 2,000円 家族会員 3,000円

申し込み・問い合わせ: あいかわ自然ネットワーク事務局 大木悦子  
〒243-0303 神奈川県愛甲郡愛川町中津 6205  
TEL 046-284-2121 e-mail npo@aikawasizen.net

<編集> 編集 吉川久美子 大木悦子